

2026年度 読むことのすすめ「メディアとなるもの」リーディングリスト

*各項目に含まれる内容

(1) 書誌情報 / (2) その本が関連する学問領域 / (3) キーワード : その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度 : 数が大きいほど難易度が高い / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属

- (1) レイ・ブラッドベリ (2014年) 『華氏451度 [新訳版]』早川書房、ISBN:9784150119553
- (2) 学問領域 : サイエンスフィクション
- (3) キーワード : SF、書物と文化
- (4) 難易度 : 1
- (5) 書物を読む上で、書物とは何かを考えることができる SF 作品。書物が世界から消えたらどうなるのでしょうか。そのような IF を刺激的に描く SF 名作です。
- (6) 推薦者 : 柴田悠基 (創造工学部)

- (1) 樋口恭介 編 (2021年) 『異常論文』早川書房、ISBN:9784150315009
- (2) 学問領域 : サイエンスフィクション
- (3) キーワード : SF、書物と文化
- (4) 難易度 : 3
- (5) SF (サイエンス・フィクション) は未来や異世界にあるであろうサイエンスや社会システムなどを理論立てた世界観で物語が描かれます。本書は日本の SF 作家 22 名による SF 世界で発表されるであろうサイエンスや社会学に関する架空論文がまとめられています。未来を考えるために未来を仮定する興味深い試みに触れてみましょう。
- (6) 推薦者 : 柴田悠基 (創造工学部)

- (1) 日本 SF 作家クラブ 編 (2021年) 『ポストコロナの SF』早川書房、ISBN:9784150314811
- (2) 学問領域 : サイエンスフィクション
- (3) キーワード : SF、書物と文化
- (4) 難易度 : 3
- (5) 時代が揺れ動く時、SF 小説はいち早くそれを察知し未来の可能性を描きます。本書はコロナ禍の混乱の最中に執筆された短編 SF のオムニバス小説です。リアルタイムで当事者になる読者にとっては、小説を読む行為以上に社会そのものを考えるきっかけとなりうる今読むべき作品です。
- (6) 推薦者 : 柴田悠基 (創造工学部)

- (1) 鷺田清一 (2005) 『ちぐはぐな身体 : ファッションって何?』ちくま文庫、ISBN:9784480420428
- (2) 学問領域 : 哲学、身体論
- (3) キーワード : 身体、ファッション
- (4) 難易度 : 1
- (5) 身体は、私たちが他者や世界に関わる際のメディアでもあります。しかし、普段、私たちは自分の身体についてどれほど考えているのでしょうか。本書は、衣服等を手がかりに、あたりまえのように受け入れている身体について考えるためのヒントを与えてくれます。身体やファッションについて考えてみたい人におすすめです。
- (6) 推薦者 : 小坂有資 (大学教育基盤センター)

- (1) 好井裕明 (2020) 『他者を感じる社会学：差別から考える』ちくまプリマー新書、ISBN:9784480683878
- (2) 学問領域：社会学、相互行為論
- (3) キーワード：他者理解、カテゴリー化、差別
- (4) 難易度：1
- (5) 「差別」という言葉を聞くと、何か特別な出来事だという印象を持つかもしれません。しかし、本当にそうでしょうか。本書は、「差別」を、他者を理解し、つながろうとする過程で生じる“摩擦熱”のようなものとして考えます。日常の何気ないコミュニケーション、映画、広告などの事例を通して、他者理解や差別について考えるための入門書です。
- (6) 推薦者：小坂有資 (大学教育基盤センター)

- (1) 皓星社編集部編 (2022) 『〈記憶の継承〉ミュージアムガイド：災禍の歴史と民族の文化にふれる』皓星社、ISBN:9784774407609
- (2) 学問領域：社会学、記憶論
- (3) キーワード：記憶の継承、苦難の歴史、ミュージアム
- (4) 難易度：1
- (5) 日常生活の中には、忘れ去られそうな出来事や記憶が多く存在します。ミュージアムには、過去の出来事を現在において共有し、未来の社会を考えるための知識やきっかけを伝えるメディアとしての役割があります。本書は、戦争、病い、民族、差別、公害、震災等、災禍の歴史や民族の文化を伝える各地のミュージアムを紹介しています。記憶の継承やミュージアムの役割について考えたい人におすすめです。
- (6) 推薦者：小坂有資 (大学教育基盤センター)